

**「万博のインパクトを活かした大阪の将来に向けたビジョン」
の策定に向けた検討資料
(第3回有識者WG資料)**

大阪府企画室

将来像に関する各委員の主なご意見（その1）

《共創》

- ・ **コークリエーション、共創**、多くの人と共に作りあげていこうというのが、2025年大阪・関西万博のコンセプト
- ・ **クリエイティブかつ共創**していくこと。また、「**おもしろい**」という**メッセージ**を打ち出さないと、若者はついてこない。
- ・ **プラットフォームの連携が重要**。従来の自治体の枠ではない、新しいプラットフォームの観点が必要。
- ・ 人の流動性が高まる。移民だけでなく、様々な目的で国境を越えて移動する、**多様な人たちを受け入れなければならない**。
- ・ **何か今までの考え方を変える**ようなことをできる、何か触媒になるようなもの、提言できるようなものとか、**いろんなものを繋げるような役割**ってというのが、これからは重要。
- ・ **いろんなものを組み合わせ**たみたいなことを考えていけないといけないし、違うものの組み合わせを考えていけないといけない。
- ・ 「Well-being」の概念にライフサイエンスから得られる知見を取り入れるなど、**いろんな分野と融合**していくあり方を考えていくべき。

《ユニークネス・おもしろい》

- ・ シェアリングの増加、コミュニケーションの簡素化、対話とコト消費が遠隔で完結する世界などの将来予想がされているが、はっきりとしたことはわからない。**2050年の大阪の将来像は、「いまの我々では想像できない何か」**。A I時代の到来もあり、「正しい」より「**楽しい**」が**大事になる**。
- ・ **大阪はおもしろいを高く評価する土壌**がある。
- ・ **ロジカルよりもコミカルシンキング**。
- ・ **府民が共有できるような姿、共感を呼ぶ・実現したい未来**にすることが重要。「**これ、やってみたい**」って思う人を増やすこと。
- ・ **ちょっと想像を超え**るとか、**挑戦をしたくなる**ようなおもしろい議論が必要。
- ・ 今時点でやる気のある人は少ない。**テンションを上げていくような、シンボル**が必要。
- ・ 若者が**出てきたくなる**仕掛けを。
- ・ **若者が常に入れ替わる。主体性を持って活動し続けていく**。そのための舞台があればいい。
- ・ **ユニークネスな施策が、そのまま街の個性になる**。

将来像に関する各委員の主なご意見（その2）

《ひとづくり》

- ・「2100年の社会をつくる人材をつくる社会」。
- ・ 次世代を語る人に託していくレイヤーが必要。
- ・ 未来と、その未来をつくる人材が重要。
- ・ イノベーションを起きる環境をつくるのがポイント。
- ・ 縄文杉のように、誰も思っていないところから、すさまじいアイデアが生まれる。のびのびとした場をつくるのが肝要。
- ・ 役に立つかどうかより、おもしろそうやから、みんなでサポートすることが大事。

《大阪らしさ》

- ・ 東京の枠に収まり切れなかった人がどんどん来て、アジアで輝く大阪を目指す。
- ・ 大阪は多様性の街。東西南北で異なるイメージを発信できる。そのための広報戦略も肝要。広報相手により、異なるやり方を考えないといけない。
- ・ 大阪は、関西全体、西日本全体のリーディングの存在。
- ・ 会場は舞洲。これは「西日本と連携しよう」というメッセージ。
- ・ 大阪は懐が深い。みんなが主役になれる場所。
- ・ 大阪は認めてもらえる都市。地域のコミュニティのなかで、みんな知ってもらい、街中に出てみたいと思えるようにすること。出ることでコミュニティが生まれる。テクノロジーの発展による人の孤立を懸念しているが、それを防ぐことができる、大阪ならではのダイバーシティを。
- ・ 自由にやれる雰囲気は圧倒的に大阪に感じる。あとは、若い人がプロジェクトを持てる場所が大事。
- ・ 万博のテーマでもあるSDGs。大阪でやるのであれば、商売に繋がっていかないといけない。

将来像に関する各委員の主なご意見（その3）

《Well-being》

- ・ 元気とか、幸せとか、楽しいとか、人間が生きる方向性、幸せが指標になる。
- ・ 人がいっぱい来て、物がいっぱい回る、大阪ならではの「Well-being」を。みんなが訪れたいくなる街づくりを。
- ・ 住みやすいも大事な要素。「誰もが自己充足を感じる社会」こそ、住みやすさの本質。
- ・ 効率や物質的な豊かさから、個人の幸福や生き方を重視する価値観にうつっていく。「Well-being」を追求する社会がやってくる。
- ・ 大阪が強みとする医療・ヘルスケアを活かし、健康という概念から主観的な幸福も含む「Well-being」に拡大してくる。そのために若者が触媒になれる。
- ・ 「個別化」、「自動化」された医療が提供できる社会がきたときに、一人一人が主体性をもって社会と個人の「Well-being」を追求していくこと。
- ・ 「健康まちづくり」というテーマは変わらない。日本が強みを持つ分野であり、更にこれをどう伸ばしていくかが重要。
- ・ 「大阪・関西万博のレガシーの活用」が重要。SDGsネクストに向けた施策の転換を実施していくことが必要。

《まちづくり》

- ・ 得意技を磨いて、ある分野に特化しないと、メガリージョン同士の競合のなかで存在感を示せない。
- ・ 防災に強い街を目指していく必要がある。
- ・ インフラの課題があるが、新しいものをつくる体力がなければ、使い倒すという発想も必要ではないか。
- ・ 社会資本の老朽化に対しては、しっかりとメンテナンスしていくことが大切。
- ・ コンパクトシティ、持続可能がキーワード。
- ・ 環境の変異を受け継ぎながら次代に繋げていく、そのようなたちを含めたソフトとをつくり、ハード面でも体現できるようにする都市にしていかなければならない。
- ・ 都市空間のあり方自体が大きく変わっていくと思う。以前は最適化された空間だったが、今は自由であり、そのために答えが複雑になっている。まちづくりも答えが複雑になってきており、公園をクラウドファンディングでつくる等、自治体のなかで完結することがなくなってきている。
- ・ 想定したとおりには、人はその場所をつかわない前提。
- ・ 「変わるもの」と「変わらないもの」がある。多くの人が憧れを抱く場所が都会であり、大阪発展の基礎であることは、「変わらない」。
- ・ 一方、まちづくりを検討する際に、「住民」だけでなく、短期、長期滞在の人たち（「ユーザー」）の視点も重要。どれだけの人が大阪を使いこなしてくれるのか。この分野で世界各都市が競争していると思う。
- ・ 大阪だからできたこともある。例えば、「ウォーカーブル」なまちづくりについては、大阪のミナミは地下道や商店街等の歩行者専用のエリアが早くから確保されていたにもかかわらず、強く訴求する概念が当時はなかった。要は自らの特徴とか、伸ばすべきところを評価する概念とか言葉が必要。

将来像に関する各委員の主なご意見（その4）

《Society5.0》

- ・ **イノベーションの民主化**はすごい話。個人の具体の多様なニーズの抽出のされ方等が変わる。
- ・ **参加型で競争**であること。甲子園のように毎年、コンテストをし、**ダイナミックな相互作用**が拡大できるような6年間にできるとよい。
- ・ サイバーフィジカルデータを**自動でとれる**街づくりが必要。リアルな人の動きがある万博が、そのチャンス。Society5.0を産業化する契機にもできる。特徴的なのは、ヘルステックとフィンテックとエドテック。エドテックでは、東南アジア等から学生を集めることができるかもしれない。
- ・ ビックデータは質の悪いものでは役に立たない。**役に立つデータ**をとれるインフラシステムをつくるべき。
- ・ データ活用の際には、**レギュレーションが一番のハードル**になる。
- ・ データの受け皿がない。**持続的にデータを残す場がある**。また、**外の人データを見て参加できるような仕組みもよい**。

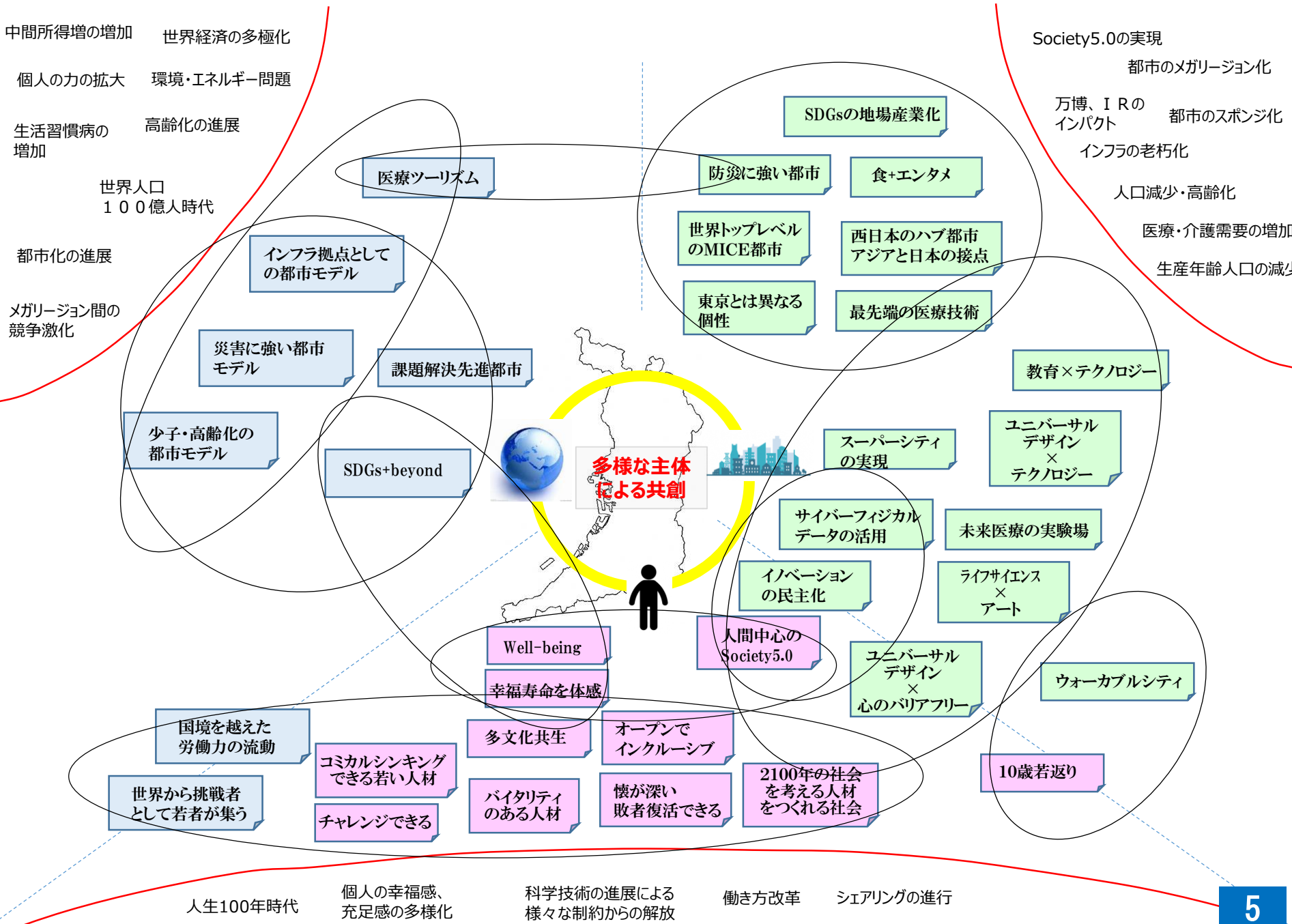
《世界》

- ・ 2050年の世界の状況を把握するべき。そうすると、**持続可能な開発が世界的に求められていることがわかる**。日本は世界に先駆けて実装する。
- ・ 「課題先進都市」から「課題解決先進都市」への**転換**。他国、他地域に先駆けて、課題解決のシステムを実践していく。例えば、震災や防災。
- ・ **万博会場そのものが、未来都市の核**。スーパーシティ特区などで実証実験を行い、**MaaS・デジタル経済圏**を実現する。それをベースに2050年、**健康医療ツーリズムの国際的な拠点**を大阪につくるべき。
- ・ 世界中から、大阪・関西を愛してもらい、来てもらう。

《ダイバーシティ》

- ・ **テクノロジーを駆使した社会の発展**は、社会に参加したくてもなかなかできない**障がいのある人や高齢者の方が、より必要**。そのためには、しっかりとニーズを把握して、「**なんちゃってバリアフリー**」にはいけない。
- ・ 大阪は、**障がい者や高齢者にとって暮らしやすい街**。その**基礎は70年万博**で生まれた。
- ・ 障がい者雇用は難しい。彼らはお金をつかえる場所がないから、稼ぐ気がない。バリアフリーを行い、**障がい者がお金を使いたくなる大阪**にすべき。
- ・ 高齢者のニーズは、障がい者のニーズを統合したもの。**障がい者への理解なくして、高齢者への理解はありえない**。
- ・ 「**心のバリアフリー**」をわざわざ言葉として表現する必要はなく、**同じ時間を共有すること、向き合う機会を増やすことで勝手に進むこと**。わざわざ取り上げていること自体がナンセンスになるかもしれない。
- ・ **テクノロジーを活かした新しいバリアフリー**というのを示していくべき。

将来像に関する各委員の主なご意見（全体イメージ）



- この間のWGにおいて、2050年の大阪のあるべき将来像については、幅広い観点から議論。
- 今後、年度内のビジョン策定に向けて、これまでのWGでいただいた意見を踏まえ、大阪の「将来像のイメージ化」や、その将来像に向けた「今後の施策の方向性」について議論をさらに進めていくことが必要。（「選択肢を生み出す（クリエイト・チョイス）」から「選択を行う（メイクチョイス）」へ）
- これからのWGにおける議論については、まず、「**将来像の軸となる考え方**」を明らかにし、その後、「**将来像のイメージ化**」、「**将来像に向けた施策の方向性の具体化**」について、議論を深め、それぞれについて明らかにしていく。
- なお、施策の方向性については、これまでWGにおいてお示した、「**健康**」、「**持続可能**」、「**国際都市**」というキーワードも踏まえ、具体化を図っていく。

※進め方のイメージ

将来像の軸となる考え方

将来像のイメージ化

将来像に向けた施策の方向性の具体化

■ 大阪の持続的な成長・発展に向けた将来像を描くうえで「軸」となる考え方（案）

【基本認識】

- 万博では、「未来社会の実験場」というコンセプトのもと、**新たな技術やサービス、システムの実証、社会実装に向けたチャレンジ**が行われる。
- 万博で生まれた**新たなイノベーション**を、万博後の社会に実装していくことで、大阪をさらに**成長・発展**させるとともに、この成果を**SDGsの達成、世界の課題解決**につなげていくことが重要。
- こうした考え方のもと、2025年から、さらに25年先となる**2050年**を見据え、大阪を持続的に**成長・発展**させていくための将来像を描いていくためには、まず、その「軸」となる考え方が**必要**。
- これまでのWGでの議論を踏まえ、この「軸」となる考え方について、以下のとおり整理。

★人が中心となり、集まり、つながる

- ・これから先の未来、さらに科学技術が進展し、多くの都市の課題が解決されることが予想。
- ・こうした中においても、人々が**健康（Well-being=肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも満たされた状態）**でいきいきと生活したいという願いや、「**人が集まり、つながり、そして新たなものを生み出していく**」といった都市の機能は**不変的なもの**。
- ・大阪は、古くから都市の発展の歴史において、民の力が大きな役割を果たしてきたまちでもある。
- ・2050年に向け、さらに人口減少・高齢化が加速する中、**大阪を、「人が中心となり、集まり、つながり」、そして、集まった人たちが健康でいきいきと活躍できる都市へとしていくためには、どのような都市の機能が必要か。**

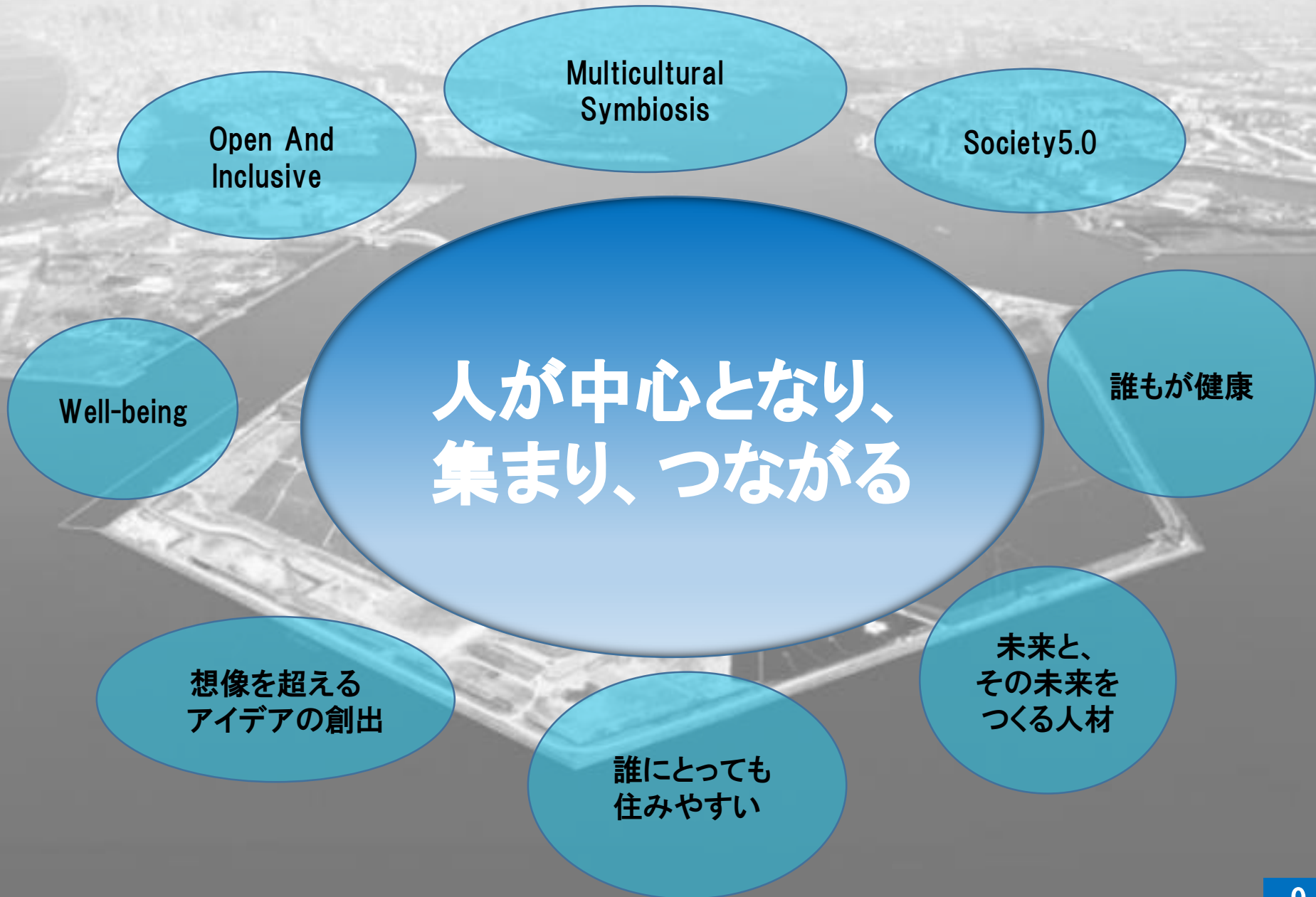
★変化（進化）し続ける（イノベーションの民主化を促進）

- ・2050年の将来像を描くということは、これから30年後の将来像をイメージすること。
- ・平成の30年間を振り返っても、インターネットやスマートフォンの普及をはじめ、社会は大きく変化。これから先、AI技術等の進展により、さらに社会の変化は加速していくことも予想。
- ・こうした中、大阪が持続的に成長・発展していくためには、**人々の日々の生活そのものから新たなイノベーションが生まれる（イノベーションの民主化）**など、**常に変化し続ける、そして、新しいことにチャレンジできる都市へとさらに発展していかなければならない**。
- ・今後、大阪が未来に向けて、**「変化（進化）し続ける都市」へなっていくためには、どのような都市の機能が必要か。**

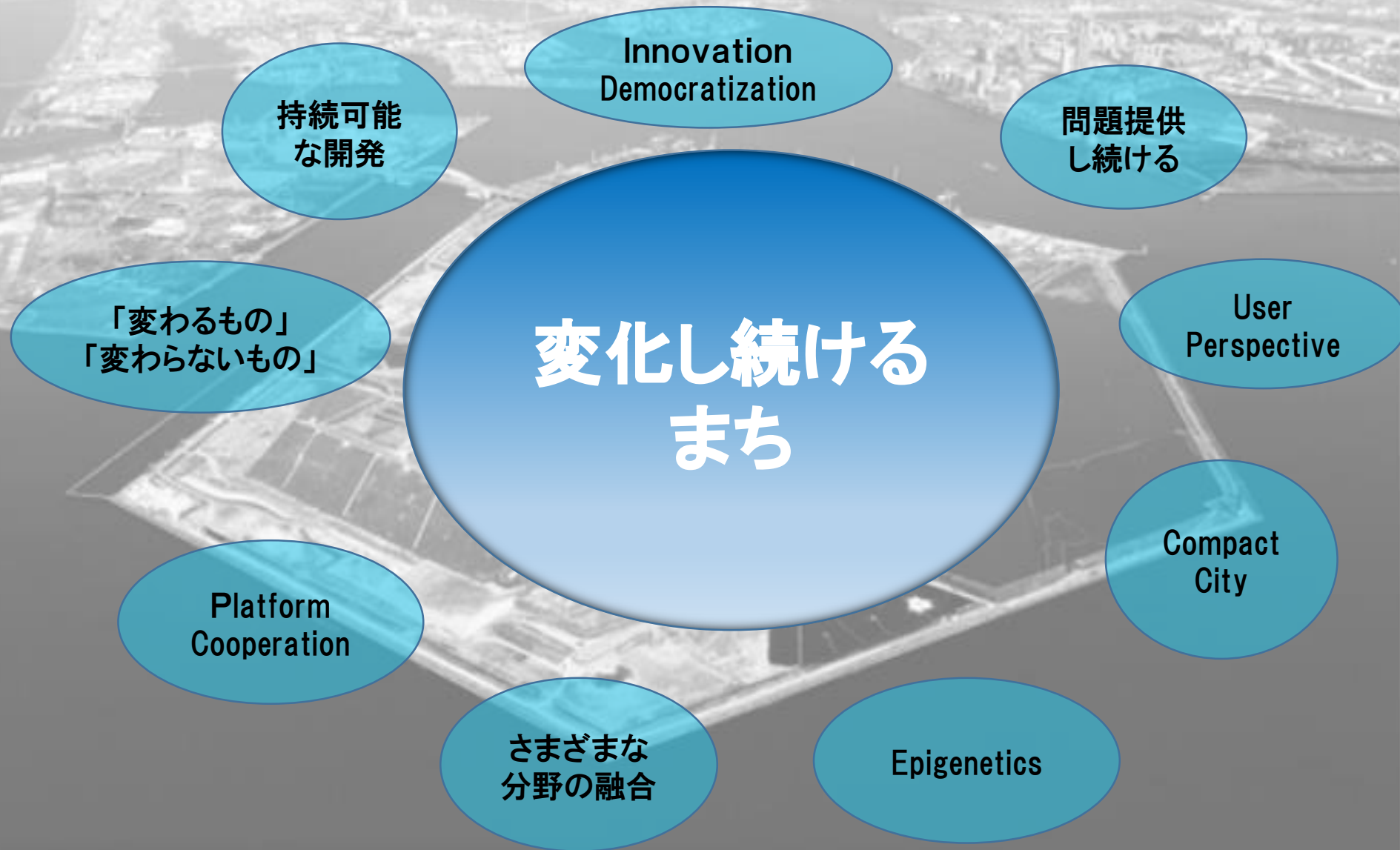
★「大阪らしさ」を活かし、世界の中で輝き、選ばれる

- ・大阪人は、先取の気質に富み、チャレンジ精神旺盛で、数多くの「世界初・大阪発」（カップラーメン、回転ずし、自動改札機など）を生み出してきた。
- ・現在も、健康・医療関連産業の集積に加え、「つくれないものはない」と言われるほどのものづくり分野における高い技術力を持っている。
- ・また、歴史、文化をはじめ、最新のエンターテインメントなど、多様な都市魅力を有している。
- ・大阪には、こうした世界に誇れる「大阪人の気質」、「都市としての力」がある。
- ・今後、さらに、「『大阪らしさ』を活かし、世界の中で輝き、選ばれる都市」としていくためには、**どのような都市の機能が必要か。**

将来像に関連するキーワード(その1)



将来像に関連するキーワード(その2)



将来像に関連するキーワード(その3)

大阪ならではの特色

アジア・
西日本で輝く

多くの人とモノ
が行き来

ものづくりの
まち

Expo
Legacy

東西南北で
異なる特色

Medical
Industry

Universal
City

商売の
まち

おもしろい
を評価